

◆都市創造学部の専門教育(カリキュラムマップダイジェスト)

都市創造学部では、都市において”「なに」を「どこ」に創造するか”を模索しながら、理想の都市の姿を探究し、その実現を図る専門教育科目を設置しています。

都市創造学を修めるため、経営学および都市社会学領域を主軸として、ビッグデータ(複雑かつ膨大な情報)を分析する技術や、現代の情報化社会に根差したICT技術(コンピューターを通じた人と人のコミュニケーション技術)を学習する講義科目を豊富に用意しています。また、学んだ知識を自身の能力として修得するため、これらの知識や技術をアクティブラーニング(主体的かつ対話的な実習授業)を通して身につけることのできる科目を配置しています。

特に、都市創造学の基本プログラムとなる「都市創造重点基盤」科目群、そして基本ツールを大きな3つの学びの領域「都市とビジネス」科目群、「都市と社会」科目群、「国際都市と留学」科目群と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解します。

■ 都市プロデュースの側面 (ミクロな視点)

人々を惹きつけ「住んでみたい」と思わせるソフトパワーを生み出し、都市の競争力を高める都市の魅力のプロデュース方法を学ぶ。

■ 都市ソリューションの側面 (マクロな視点)

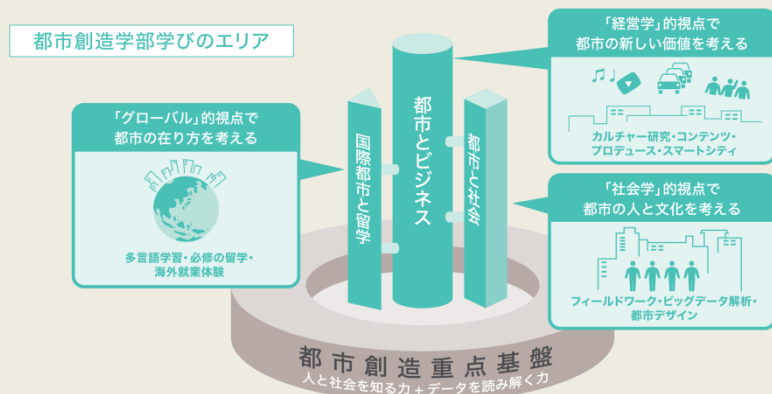
生活者の視点から都市の課題に対する解決策(ソリューション)を考え、「住みやすい」都市を実現する都市デザインの方法を学ぶ。

■ 都市創造重点基盤の学び領域 (人と社会を知る力+データを読み解く力)

1年次から4年次までの「基礎ゼミナール」「就業体験ゼミナール」「卒業研究ゼミナール」を核にしなが、都市の魅力の考察から開発への能力、都市の課題の考察から解決への能力を涵養します。

《3つの学びの領域》

マクロとミクロの視点に基づいて、3つの領域から都市創造に必要な能力を涵養します。



・ 都市とビジネス

都市とビジネス産業社会の正しい理解のために企業経営の本質を理解する経営学の領域

(「経営学」の視点で新しい価値を考える)

・ 都市と社会

現代都市が直面する課題の本質を追求し都市と社会に関する専門知識を習得するための社会学の領域

(「社会学」的視点で都市と人と文化を考える)

・ 国際都市と留学

外交問題や環境問題、所得格差問題など隣国が抱える問題について留学することによって直接得た情報を分析する領域

(「グローバル」的視点で都市の在り方を考える)